

平成30年4月20日  
石川県選挙管理委員会  
(内線 3548)  
(外線 076-225-1282)

### 新有権者のメッセージ募集について

石川県選挙管理委員会及び石川県明るい選挙推進協議会は、明るい選挙推進事業の一環として、高校生を対象に、「初めての投票」をテーマにした新有権者のメッセージを昨年に引き続き募集します。

応募締め切りは平成30年9月7日(金)、応募方法は別添チラシのとおりです。

応募先(お問い合わせ先)  
石川県選挙管理委員会 (076-225-1282)



# 平成29年度の優秀作品は次のとおりです！



テーマは「初めての投票」だよ。  
「初めての投票」について、自分の意見や考えや伝えたいことなどを  
メッセージにして、応募しよう！

## 石川県選挙管理委員会委員長賞

18歳になる私たちは、投票ができるようになりました。まずは、政治を理解することから始めなければいけないと思います。そして、世の中のことをよく知ることが大切です。私たち高校生の一票も、これからの日本に関わるのです。

自分の意見を明確にし、一票への責任や重みを感じ、投票に行きたいと思います。

石川県立翠星高等学校 3年 米谷 莉乃亜

## 石川県明るい選挙推進協議会会長賞

私たち高校1年生が、政治に参加できるようになるまであと2年。それまでにやっておかなければならないことはたくさんある。今の社会はどのような仕組みになっているのか、それぞれの政治家がどのような活動をしているのか。それを知ることは大切なことだし、何より、知らずに投票しては意味のないことだと思う。そうならないためにも、学んでおきたい。

石川県立七尾高等学校 1年 大西 直子

## ～優秀賞～

今、選挙の投票率が低いとよく聞きます。選挙は、私たちの未来を決める大切なものなので、積極的に参加するべきです。

選挙権が18歳に引き下げられ、私にも一票の権利が与えられます。その重みや責任を感じながら、投票したいです。そのためにも、今まで以上に社会に目を向けて、関心を持っていきたいと考えています。

石川県立大聖寺高等学校 1年 谷口 栞

選挙の投票率が低い昨今、せっかく18歳の私達が投票できるようになったので、私はこのチャンスを活かすべきだと思う。

自分達の一票が、国や地域を代表する人達を決めるという責任感を持ち、様々なものに耳を傾けて、自分自身で吟味して投票しに行くことが大切だ。このチャンスを大切にしなければいけないと思う。

石川県立金沢西高等学校 3年 本出 咲葉

18歳に選挙権が引き下げられ、今まで遠い存在のように感じていた政治が、身近に感じられます。今や一票の重みは、大人も18・19歳の若者も変わりません。私たちも政治に参加していくことになるのです。その責任と自覚を自らの一票に託すつもりで、投票に行きたいです。

まずは、新聞やニュースを見て、政治について関心を持つことから始めませんか。

石川県立七尾高等学校 2年 山田 萌恵

今年18歳になる僕は、選挙権を得て、投票できるようになりました。

そこで、選挙について調べてみると、20代を中心に、若者の投票率が減っていることを知りました。

皆が政治に興味・関心を持って主体的に参加していくべきだと思います。一票を大切に、一人一人が選挙に行くことが大事だと思いました。

石川県立能登高等学校 3年 斉藤 駿